



令和7 年度九度山町立河根小中学校スクールプラン



九度山町学校教育目標

○豊かな人格の形成を図ることを主眼として、人間尊重を基盤とした心のふれあう充実した教育を通して「生きる力」をはぐくみ、主体的に生きていく元気な児童生徒を育てる

保護者・地域の願い

○休まず登校し、学力をしっかりと身につけてほしい
○思いやりのある子に育ってほしい
○体験・ふれあい活動を重視した魅力ある取組をしてほしい
○地域を知り積極的に地域とのつながりをもってほしい

学校教育目標

人・地域に学び、自己有用感をもち自己表現できる児童生徒の育成

目指す児童生徒像

感謝と思いやり

- ・感謝の心と自他への思いやりの心を持つ児童生徒
- ・前向きに粘り強く努力し、たくましく生きる児童生徒
- ・地域に学び、ともに活動することができる児童生徒

目指す学校像

信頼

○保護者、地域から信頼される魅力ある学校

目指す教師像

- 「待つこと」「傾聴」「提案」「豊かな人間性」を重視
- 教育専門職としての自覚・熱意
- 学校運営に参画し、主体的に実践する教職員集団

前年度の学校評価

○学校生活に満足している児童生徒がふえてきている
○児童生徒の登校状況が改善され、学習意欲ができた
○基本的生活習慣の確立と基礎的学力の向上にさらに取り組む必要がある

児童生徒の実態

○豊かな自然環境の中、ゆったりと落ち着いた学校生活を送っている
○素直で優しい児童生徒だが、個々に生活面、学習面に様々な課題を抱えている

重点目標	確かな学力の向上 ◎「学びに向かう力」の育成 ◎個に応じた指導の充実 ◎特別支援教育の充実 ◎思考力・判断力・表現力の育成 ◎家庭学習の習慣化	豊かな心の育成 ◎特別支援教育・教育相談体制の充実 ◎道徳教育・人権教育の充実 ◎社会性の育成 ◎主体的な活動の充実	健康安全教育の推進 ◎基本的生活習慣の確立 ◎食育・健康教育の充実 ◎体力づくりの推進 ◎危機回避能力の育成	地域と共に歩む学校づくり ◎家庭・地域との連携充実 ◎小中連携・行事交流の充実 ◎九度山町内における学校間連携の推進 ◎ふるさと教育の推進
具体的方策	○「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」の充実をはかる。 ○「よくわかる」授業づくりを進め、基礎・基本を習得させる ○本に親しむ児童生徒の育成に努める ○児童生徒の発達段階や特性を十分考慮し教育課程を編成する ○個に応じた指導内容や指導方法の工夫を組織的かつ計画的に行う ○自分の考えをもち表現し伝える力を育成する（ペア学習・話し合い活動） ○家庭学習の内容を工夫・吟味し、学習習慣の定着化を図る	○スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、支援学校、医療機関等と連携して特別支援教育・教育相談を充実させる ○「特別の教科 道徳」の研究・授業実践をする ○挨拶、礼儀正しい行動を身につけさせる ○主体的な活動をとおり、自己肯定感を高めさせる ○「みんな遊び」をとおり、仲間づくりを進める。	○規則正しい生活の大切さを理解させ、各家庭と連携して「早寝」「早起き」「朝ごはん」を定着させる ○情報モラル教育を推進する ○保健体育、部活動等をとおり、個々の児童生徒の課題に応じた体力の向上を図る ○避難訓練を計画的に実施する ○体力づくりの取組を実施する	○授業や行事等を公開するとともに、各種たより、HP等を通して積極的に学校の情報を発信する ○地域の人と協働する体験活動を積極的に進める ○町内の学校で連携を推進し、児童生徒の体験・交流の場をつくる ○地域の歴史、文化、自然、防災に関する学習を推進する
評価指標	・読書時間の増加（児童生徒70%） ・自分の考えを持ち、表現できる（児童生徒80%） ・家庭学習時間の増加（前期比）（児童生徒80%）	・特別支援教育の研修を実施する（教職員100%） ・「人権教育」の公開授業・研究協議を実施する（教職員100%） ・挨拶、感謝の気持ちが表現できる（児童生徒80%）	・スマホ、テレビ、ゲーム、インターネット使用時間にルールを設定する（保護者80%） ・生活リズムチェック表を活用し、自分なりの目標を設定し改善を図る。（児童生徒80%）	・HPの更新に力を入れる ・各種たよりを月1回以上発行する（実施率100%） ・地域の人と協働する体験活動を実施する（実施率100%）

◎・・・特に重点的に取り組むこと